



暑い日が続いていますね。脱水症状にならないように、水分補給をしっかりと体調管理には気をつけましょう。

★意欲を育てるお手伝い

「食事のしたくをしようとする」とよってくる」「新聞を見ていると、膝に乗りにくる」など、1歳を過ぎたころから、子どもはおとなのすることに興味をもちはじめます。一見、邪魔をしているように思えて、やっかいな時期です。とくに忙しいときなどイライラの原因となりますね。

このころの子どもへのかかわりのキーワードは「お手伝い」。「こんな小さな時期からお手伝いができるの?」と思われるかもしれませんが、工夫すれば子どもにもできることがたくさんあります。たとえば、「お米をとぐ」こともそのひとつです。おとなと同じようにはできませんが、お米をかきまぜる、カップの水を入れるなどは喜んでします。このころのお手伝いの難点は、往々にして失敗するので後始末がたいへんなことです。おとなには気持ちと時間の余裕が必要です。

失敗するとわかっていることを子どもにさせることに、どんな意味があるのでしょうか。この時期の子どもは「あこがれのおとなと同じことがしたい」という気持ちでいっぱいです。模倣しながら、たくさんの経験を積みます。失敗しながら、おとなに助けられて同じようにできた時、「ヤッター!」という気分になります。この経験が長い人生を意欲的に生きていくための土台づくりになるといっても過言ではありません。

子どもから「やりたい」と言ってくれているのです。このチャンスを逃す手はありません。

忙しいときや、毎日でなくてもいいのです。お休みの日に家でゆっくりしながら、子どもに手伝ってもらえる機会をつくりましょう。洗濯物をたたんだり、おそうじだって工夫しだいでは子どもにできることがあります。おうちの事情に合わせて考えてみましょう。

少しでも手伝ってくれた時に「ありがとう」は忘れずに。まちがっても、失敗した時に怒らないでください。子どもは失敗しながら成長するものですから。

面倒だなと思うときは、「手伝いは意欲を育てる。発達のチャンスを奪わない」と、呪文を唱えて、子どもの気持ちに寄り添ってみましょう。きっと子どもの素敵な笑顔に出会えるでしょう。

『今日から始める安心子育て 笑顔で向き合って』 池添素 著

次回のめだか教室は…

めだか教室①…10月 8日(火) 9:20~11:15

→ **さんぽ** をします

めだか教室②…10月22日(火) 9:20~11:15

→ **さんぽ** をします

◎持って来るもの: 水筒・バスタオル・必要に応じて着替え

※保護者の方も動きやすい服装でお願いします

※個別相談も行っています。職員とゆっくりと話がしたい。子どもの発達状況を知りたいなどございましたら、担当職員の方にお知らせください。

『参加される皆様へ』 ~ご協力をお願いします~

- お休みをされる場合は、学園までご連絡ください
- 参加費は無料です。(おたよりがホームページに掲載され、通信費が必要ないため) 製作やクッキングの活動の時には材料費として100円頂きます。その都度、連絡します
- 水分補給のため、お茶を用意してください(ジュースはご遠慮ください)
- きょうだい児の参加はご遠慮ください。預け先がない場合は事前に職員までご相談ください・トラブルによるケガ防止のため、参加前に爪を必ず切ってください